

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2 年 1 月 7 日

提案団体名： 株式会社ローカルメディアラボ (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等

※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
①2010年の会社設立以来、ICT利活用による地域活性化、地域情報化について研究及びサービス実装のための活動を続けている。主に、九州内の中山間地域、小規模自治体での活動が多く、自治体向けのICTを活用した広報戦略提案、データ利活用戦略提案を行っている。また、住民参加を推奨し、ICT利活用によるまちづくりワークショップ等を企画実施している。熊本県湯前町では、(一社)奥球磨スマートタウン研究所を設立し、弊社代表が理事を務め、ICTを活用したまちづくりの提案を行っている(2011～2019)。	(7)
②2017年度、2019年度には、ウェブ上に散在する地域情報をスクレイピングし構造化、住民向けに最適化された情報を提供するサービスの研究開発を、総務省戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)に採択いただき実施している。2019年度は、防災に関するデータを収集しオントロジー技術を用い構造化、自社で構築したデータプラットフォーム(FIWARE)上に蓄積し、LINEBOTやスマートスピーカーを通じてユーザーに提供するサービスを開発している(2020年1月現在、開発進行中)。	(4)(5)
③2019年度、佐賀県AI・IoT実証推進事業(研究開発事業)を受託。測距センサーとマイコンを活用した人流解析システムを開発し、佐賀市営バスの乗降データ解析を行っている。また同時に、AIによる画像解析技術を使った人流測定も行い、精度の比較検証を実施。この成果をもとに、データに基づく佐賀市内における公共交通最適化プランに繋げていく予定(2020年1月現在、データ取得実験中)。	(1)～(4)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
①これからの地域づくり、データ駆動型のまちづくり等においては、テクノロジーオリエンテッドではなく、住民が主体的に課題解決に関わる仕組み作りが必要である。弊社では、住民に技術情報や様々な事例、データを提供しつつ、ワークショップ等を通じ主体的にまちづくりを行う手法を長年の地域情報化活動の中で経験している。これらの手法と知見を生かしながら、市民参加型のスマートシティ構築の流れをデザインしていきたい。	(オ)(サ)(シ)
②地域情報は、ウェブ上に散在しているだけでなく、生活に身近な情報ほどデジタルデータ化されていないケースが多い。結果として、例えば災害時に必要な情報にアクセスできず混乱が生じるケース等が散見される。これら様々なスタイルの地域情報を収集し、共通フォーマットの元に自動的に構造化することで、地域住民の情報アクセスを最適化する。新しいまちづくりにおいては、情報アクセスの最適化は防災、環境、健康、交通などあらゆる分野で必要不可欠となるため、その基盤整備をめざしている。	(ウ)(シ)
③スマートシティの大きな要素として、人の移動の最適化がある。ただ現状として、地方都市においては経験則に基づくダイヤ作成や、業者提案主導型の施策導入が多いのも実情である。弊社では、センサー、AI等を活用した人流データ計測と、そのデータ分析、データビジュアライズ等の手法に基づくモビリティ施策、まちづくり施策が必要だと考えており、今後、実証、実装を推進していく。	(ア)(サ)(シ)

(3) その他

弊社代表の牛島は、2016年から内閣官房オープンデータ伝道師として、地方自治体のオープンデータ化と、それらのデータを活用した新しいまちづくりの分野で普及啓発活動を続けている。既に、2018年度から、福岡市に本社を置く大手企業からの依頼で、グリーンフィールドにおけるスマートシティ計画立案のアドバイザーを務めており、データ駆動型のまちづくりとエリアマネジメントの両面から助言している。また、某自治体からは中心市街地の活性化策について助言を求められており、スマートシティ化の文脈でアドバイスし、実装計画を検討している。

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
代表取締役	牛島清豪	0952-97-9605	saygo.ushijima@lm-labs.com